

# 校長室から ひがしなら通心

(H29年度) 茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 12  
平成29年6月2日(金)発行

## ある新聞記事より

読売新聞 1/30、2/4より

埼玉県戸田市の戸田第一小学校で27日、公開授業が行われた。3年1組の約30人は値段が書かれたケーキの絵を見て、足し算やかけ算の計算式を考え、それに合う問題文づくりに挑戦した。「問題文を自分で作ってみることで、文章題の理解が進む」と担任の坂野武教諭(38)は語る。こうした授業に取り組みるのは、問題文をきちんと読めない子供たちがいるためだ。

「教科を教える前に、文章の内容が分からない生徒がいる」というのは衝撃的だった。同市の戸ヶ崎勤教育長は、

「これまで現場の教員に漠然とした不安があった。普段のテストでも答えを何も書かない子供たちから「問題で何を聞かれてるか分からない」という声が出ていたからだ。同市は昨年8月10月にも小6・中3に同様のテストを実施。現在、どの学年で読解力に差がつくのか、分析を進めている。大学生の読解力もおぼつかない。学生の劣化を指摘する著書がある菅真司氏が

講師を務めた私大では、読書をする学生は少数で、3年



公開授業で算数の問題文を作る児童たち(27日、埼玉県戸田市の戸田第一小学校で)

## 読解力が危ない

日本の子供たちの読解力低下が懸念されている。経済協力開発機構(OECD)が昨年12月に公表した国際学力調査の結果では、15歳の読解力が4位から8位に順位を下げた。文章や資料を読み解く力がないと、深く考え、自分の考えを表現することは難しい。読解力向上には何が必要なのか。

## 問題文が理解できない

戸田市は昨年2月、人工

「た」と振り返る。

### 中学生対象の戸田市のテストの問題例

教科書の一文を読み( )に相当する解答をA~Dから選ぶ

Alexは男性にも女性にも使われる名前、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。

Alexandraの愛称は( )である。

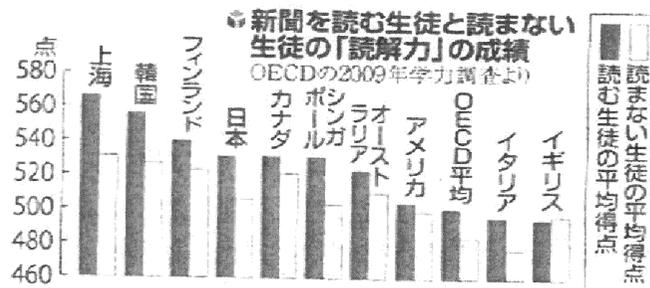
正解	A Alex	45%
	B Alexander	12%
	C 男性	9%
	D 女性	33%

開隆堂出版 中学英語教科書 『Sunshine English Course 3』

ネットワーキングやSNS(ライン)など短い文章をインターネット上に投稿し、互いに情報交換したりできる。SNSサービスの利用者は短く、近況を伝えたり、互いに情報交換したりできる。SNSサービスの利用者は短く、近況を伝えたり、互いに情報交換したりできる。

果もあり、日本の読解力は回復傾向が続いた。しかし、最近SNSの普及に伴う短文のコミュニケーションが若者の間で急速に広がり、長文を読んだり、書いたりする機会は減っている。文科省は今回の結果を受け、語彙力の強化や文章を読む学習の充実を掲げた。20年度から実施する新学習指導要領にも反映させる。05年当時、文科省のプログラムに沿った指導法を研究した高木展郎・横浜国立大名誉教授は「現代に求められる読解力は、思考力や判断力、表現力に通じる力だ」と指摘。「向上には新聞の社説のような論理構成の文章を書き写し、自分の意見を書くことが効果的だ。読書もただ本を楽しむのではなく、『読んでどう考えるか』という学習にしないと読解力は育たない」と指導の転換を求めている。

## 新聞読むほど好成绩



経済協力開発機構(OECD)が2009年、各国の15歳を対象に行った国際学力調査では、新聞を読む生徒ほど「読解力」の成績が良い傾向が見られた。平均得点が520点だった日本は、新聞を読む生徒が531点で、読まない生徒との間に25点の差があった。平均得点が556点でトップだった上海も、新聞を読む生徒は566点で、読まない生徒より35点高かった。

新聞に限らず、読書で「文字をしっかりと読む」ことは、脳を活性化させるという研究が科学的にも証明されています。その内容は、

- 1) 発想力が豊かになる。
  - ・現実と違った見方や考え方を知ることができる。
- 2) 脳トレになり、脳が活性化する。
  - ・集中して読むことで、想像力が働き脳の働きが活性化する。
- 3) 文章の組み立てや構成力がつく。
  - ・文章の書き方や書き方の特徴を知ることができる。
- 4) コミュニケーション力が高まる。
  - ・他の人が考えていることを理解する能力がつく。 などがあります。

(裏へ続く)

本校でも各学年が、読書活動推進の取組みを進めています。朝の時間を使った読書は水曜日ですが、ご家庭でも例えば、毎日10～15分の読書タイムを設けられてはどうでしょう。

## 読書ノートをしてみませんか？

読書続ける取組みの一つとして、「読書ノート」(大阪読書推進会)というものがあるのを知っていますか？(下がノート見本です。)

これは、大阪読書推進会と朝日新聞が提携している小学生向けの事業です。読書した記録をしながら読書を楽しみ、読解力を深めるために作成されました。1～4年生で読書を100冊達成すると朝日新聞デジタルに、5・6年生で50冊達成すると朝日新聞と朝日新聞デジタルに、希望すれば氏名が掲載されます。氏名掲載は前期(9月)・後期(2月)のどちらかです。

すでに各学年で読書の取組みをしていますから、先ずはそれをがんばりましょう。それに加えて、この「読書ノート」もしてみたいと思う人は、このノートを1冊差し上げます。(今年申し込んで、見事抽選に当たりました。)読んだ本を学年の読書の取組みと、このノートに2回書くことになる学年も



あるので、面倒かもしれませんが、それでもやってみようと思う人は、校長室まで取りに来てください。読んだ本1冊ごとのスタンプも校長室で押しますよ。

まだやるかどうかはわからないけど、ノートが欲しいだけでもあげますので、どうぞ来てください。ノートは全児童分届いています。

## 明日の土曜参観、お待ちしております

学校だよりでもお知らせしていますが、是非、学校においでください。そしてできれば、次の3点をご参考にしていただきたいと思います。

まず、1点目は、お子さんの様子をご覧いただき、これまでと違う成長の証を見つけて、それを認める言葉をお子さんにかけてあげてください。その言葉でお子さまの自己肯定感がどんどん高まっていきます。次の日の学校での様子に変化が出てきます。やる気が出てくるのです。子どもたちの学びで大切なのは、自己肯定が高まってくることです。自己肯定が高まると自分が好きになり、自分で何でもチャレンジしてみようとする姿が見られるようになります。身の周りも見えてきて友だち関係も良くなってきます。よりよい自分にどんどん変わっていきます。褒めることで子どもが生き生きしてきます。

2点目は、みなさんのお子さん以外の子どもたちにも目を向けていただきたいと思います。そのなかで、良い点や感心したことがありましたら、その子どもにもみなさんの素直な気持ちを言葉にして伝えてください。きっと伝えられた子どもも、そして伝えたみなさんも笑顔になると思います。

3点目は、子どもたちだけでなく、教職員の様子や校内の掲示物等の状況、施設や環境などもご覧いただき、ご意見をいただけたらと思います。現在は連携の時代です。学校は、保護者のみなさんをはじめ、様々な方々と、子どもたちの健やかな成長という共通の目的をもって連携してこそ、優れた教育ができるのだと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。お気づきの点は、いつでも結構ですので、学校にご意見をお届けください。

なお、この日は、地域の方々にも学校においでいただけるようご案内しています。子どもたちが、多くの人たちに見守られながら成長しているということを実感するとともに、いつも子どもたちを温かく見守っていただいている地域の方々への感謝を、子どもたちの姿からお伝えできればと思っています。

多くのお子さまの参観をお待ちしています。

<p>読んだ本のタイトル</p> <p>1</p> <p>読みはじめた年月日</p> <p>読み終えた年月日</p> <p>かんじたこと</p>	<p>読んだ本のタイトル</p> <p>4</p> <p>読みはじめた年月日</p> <p>読み終えた年月日</p> <p>かんじたこと</p>
<p>読んだ本のタイトル</p> <p>2</p> <p>読みはじめた年月日</p> <p>読み終えた年月日</p> <p>かんじたこと</p>	<p>読んだ本のタイトル</p> <p>5</p> <p>読みはじめた年月日</p> <p>読み終えた年月日</p> <p>かんじたこと</p>
<p>読んだ本のタイトル</p> <p>3</p> <p>読みはじめた年月日</p> <p>読み終えた年月日</p> <p>かんじたこと</p>	<p>読んだ本のタイトル</p> <p>6</p> <p>読みはじめた年月日</p> <p>読み終えた年月日</p> <p>かんじたこと</p>